

## あんしんな賃貸居住環境の構築に向けて

### ～これからの賃貸経営と地域との関係～

平成19年7月に施行された「住宅セーフティネット法（通称）」に基づき、神奈川県では平成22年11月に『神奈川県居住支援協議会』が設立されました。

この協議会では、住宅確保要配慮者（高齢者世帯、障害者世帯、外国人世帯、子育て世帯）への入居支援のあり方や大規模団地などのコミュニティ再生について検討していきます。

賃貸住宅貸主の皆様にとっては、「空室がなかなか埋まらない」「高齢者等を受け入れたいけど不安だ」という悩みをお持ちだと思いますが、一方で、高齢者世帯や障害者世帯、外国人世帯や子育て世帯は、年齢や障害、国籍等で入居を断られるケースも多くあり、そのギャップが課題となっています。

また、高度成長時代に建設された大規模団地では、高齢化が進み、コミュニティ再生も課題となっています。

このような様々な課題に対して、既に取り組まれている事例等を紹介し、貸主の皆様や支援活動をしている皆様に更なる事業展開のヒントとなるよう、シンポジウムを企画しました。

この機会に、それぞれの立場で居住支援、コミュニティ再生のために何をすべきか、一緒に考えてみませんか？

- 1 開催日時 平成23年3月17日（木）13：30～17：00
- 2 会場 横浜情報文化センター 情文ホール・フォワイエ（横浜市中区日本大通11）
- 3 カリキュラム

時間	テーマ（仮）	内容（参加者向けPR）	講師
13:30～	(～17:00)【パネル展示】	居住支援やコミュニティ再生に取り組んでいる団体のパネルを多数展示し、情報発信しています。	
14:00～ 15:00	【講演】 あんしんな賃貸居住環境の 構築に向けて ～これからの賃貸経営と地域との関係～	全国の居住支援の取り組みを紹介しつつ、高齢者、障害者、外国人、子育て世帯が生活しやすい住環境のあるべき姿をは何か？今後の活動のヒントを掴んでください。	東北工業大学 講師 新井信幸氏
15:10～ 16:00	【事例発表】 私たち、頑張ってます！ ～県内の取り組み事例の紹介～	県内で居住支援、コミュニティ再生に取り組んでいる団体の事例紹介。様々な支援方法から、まず自分たちに何ができるか考える機会にしてください。	NPOや社会福祉法人、不動産事業者など 5グループ程度 (10分/グループ)
中 締 め			
16:15～ 17:00	【情報交流会】	パネル展示を行っている団体の担当者と情報交換する機会を設けました。新たなつながりを作る機会としてご活用ください。	

- 4 定員 150名（先着順・会場の関係上、定員になり次第、締め切ります。）
- 5 申込方法 裏面の申込欄をご記入いただき、FAXで事務局までにお送りください。  
(切り取る必要はありません)

